



*Through the eyes of Japanese
and European collectors*

Royal Copenhagen and Scandinavian Design

*Art Nouveau to
Modern*



日欧プライベートコレクション

ロイヤル コペンハーゲンと
北欧デザインの煌めき

アール・ヌーヴォーからモダンへ

2025.10.11 SAT — 12.14 SUN

群馬県立館林美術館

GUNMA MUSEUM OF ART, TATEBAYASHI

〒374-0076 群馬県館林市日向町 2003

TEL.0276-72-8188 (代表) FAX.0276-72-8338

<https://gmat.pref.gunma.jp/>

[開館時間] 午前9時30分～午後5時(入館は午後4時30分まで)

[休館日] 月曜日(10月13日、11月3日、11月24日を除く)、10月14日(火)、11月4日(火)、11月25日(火)

[観覧料] 一般830円(660円)、大高生410円(320円) * ()内は20名以上の団体割引料金 * 10月28日(火)県民の日は無料

* 中学生以下、障害者手帳等をお持ちの方とその介護者1名は無料 * 群馬県在住の65歳以上の方は平日のみ2割引

[主催] 群馬県立館林美術館 [後援] デンマーク王国大使館、スウェーデン大使館 [企画協力] 株式会社ブレントラスト * 第49回県民芸術祭参加

Gunma Museum of Art, Tatebayashi

Royal Copenhagen and Scandinavian Design

Art Nouveau to Modern

日欧プライベートコレクション

ロイヤル コペンハーゲンと 北欧デザインの煌めき

アール・ヌーヴォーからモダンへ



冬の長い北欧の国々では、家の中での暮らしを大切に、食卓を華やかに彩る食器などの生活雑貨に、美しいデザインを取り入れてきました。本展では、デンマークとスウェーデンに焦点をあて、19世紀末から20世紀の陶磁器、銀器、ガラス器を中心に、北欧デザインの魅力を紹介します。

デンマーク王立磁器制陶所を起源とするロイヤル コペンハーゲンは、上質な磁器の生産で早くから国際的な評価を獲得し、北欧アール・ヌーヴォーの先駆けとなりました。同時期に人気を競い合った窯の

ピングオー グレンダールで陶工としてキャリアをスタートしたジェンセンは、のちに銀製品で名高いジョージ ジェンセンを創業します。

一方のスウェーデンでは、北欧最古の陶窯とされるロールストランドが品格ある陶磁器を送り出してきました。また、同国スモーランド地方では古くからガラス工芸が盛んで、1950年代にはオレフォスやコスタといったガラスメーカーによって芸術性の高いガラス作品が生み出されました。

本展では、日欧の貴重なプライベートコレクションから約200点を選び、アール・ヌーヴォーからモダンへと連なる北欧デザインの流れに迫ります。



左から | ◎[染付金彩鷲文皿] ピングオー グレンダール デザイン：ピエトロ・クロン ペインター：ファニー・ガーデもしくはエフィー・ヒーガマン＝リンデンクローネ 1886-1888年 塩川コレクション ◎[浮花付花瓶] ロールストランド 原型：ルベン・リーシング 装飾：アストリッド・エヴェルローフ 1900-1910年 塩川コレクション ◎[ラムセス] 花瓶 オレフォス マルティ・リッコネン 2000年頃 個人蔵 Photo Michael Whiteaway ◎[水遊び] 花瓶 (アリエル) オレフォス エドヴィン・オーストロン 1937年 個人蔵 Photo Michael Whiteaway ◎[花瓶 (クラウカ)] オレフォス スヴェン・バルムクヴィスト 1950年代 個人蔵 Photo Michael Whiteaway | 上部タイトル横作品 | ◎[眠り猫置物] ロイヤル コペンハーゲン 原型：エリック・ニールセン 1923-1928年 塩川コレクション

会期中のイベント



https://gmat.pref.gunma.jp/
各事業の詳細・申込方法は、HPをご覧ください。直接お問い合わせください。

◎ 記念講演会

「ロイヤル コペンハーゲン、ピングオー グレンダールの魅力」

11/9(日) 14:00～15:30 [申込不要・要観覧券・定員130名]

講師：塩川博義氏(日本大学教授・コレクター)

◎ たてび☆びじゅつ部

「青と白のきらめき～オリジナルペーパーウェイトをつくろう～」

11/15(土) 13:30～15:30 [申込不要・無料] *自由な時間に参加できます

◎ 学芸員によるギャラリートーク

10/22(水)、11/29(土) 各日14:00～(約40分) [申込不要・要観覧券]

◎ たてび☆キッズウォーク

10/25(土)、11/22(土) 各日13:00～15:30 [申込不要・中学生以下対象・無料]

*自由な時間に参加できます *参加記念品付き

◎ 2025・ポンポン生誕170周年記念イベント第2弾

*詳細はHP・SNSでお知らせします。

－特集展示「ポンポンの故郷ソーリュエ」 10/11(土)～12/14(日)

－ポンポンツアー 11/23(日・祝) 14:00～14:30 [申込不要] *参加記念品付き

別館展示

「フランソワ・ポンポン関連資料より ーポンポンの磁器作品ー」

10/11(土)～12/14(日)

群馬県立近代美術館のご案内

*詳細はHPをご覧ください。

◎「響きあう絵画 宮城県美術館コレクション」

カンディンスキー、高橋由一から具体まで

9月13日(土)～11月9日(日)

◎「水野 暁 視覚の層 | 絵画の層」

9月13日(土)～12月16日(火)

[交通案内]

- 車 : 東北自動車道 館林IC.から約9km
北関東自動車道 太田桐生IC.から約15km
- バス : 「館林駅西口」から、多々良巡回バスにて「県立館林美術館前」下車すぐ(日・祝は直行便あり)。
[多々良駅]または「館林駅西口」から、多々良北線バス(火・木・土のみ運行)にて、「美術館西」下車、徒歩5分。
- 徒歩 : 多々良駅から約1.2km(約20分)
- タクシー : 館林駅から約4km(約10分)

[東京都内からのご案内]

- 浅草駅または北千住駅から東武スカイツリーライン・伊勢崎線にて館林駅または多々良駅下車。特急「りょうもう」の場合、浅草駅(北千住経由)～館林駅の所要時間は約60分。
- JR宇都宮線ご利用の場合は、久喜駅で東武伊勢崎線に乗り換え。久喜駅～館林駅の所要時間は約30分。

[バス時刻表]

	平日・土			日・祝 (★は駅と美術館直通)		
	館林駅西口	県立館林美術館前	館林駅西口	館林駅西口	県立館林美術館前	館林駅西口
多々良巡回線	8:55	9:22	9:38	9:05*	9:17	9:29
	9:55	10:22	10:38	9:55	10:22	10:38
	10:55	11:22	11:38	10:55*	11:07	11:19
	11:50	12:17	12:33	11:35	12:02	12:18
	13:40	14:07	14:23	13:20*	13:32	13:44
	14:35	15:02	15:18	14:00	14:27	14:43
	15:30	15:57	16:13	15:05*	15:17	15:29
	16:25	16:52	17:08	15:45	16:12	16:28
(火・木・土のみ) 多々良北線	多々良駅～館林駅西口			館林駅西口～多々良駅		
	多々良駅	美術館西	館林駅西口	館林駅西口	美術館西	多々良駅
	9:10	9:14	9:53	10:15	10:46	10:58
	11:10	11:14	11:53	12:15	12:46	12:58
			14:10	14:41	15:43	



表面作品

左上から時計回りに | ◎[花飾文花瓶]ロイヤル コペンハーゲン ヤニー・ツフォー・メイヤー 1910年 塩川コレクション ◎[ブローチ no.306]ジョージ ジェンセン ヘニンガ・コッペル デザイン1947年、制作1945年以降 個人蔵 Photo Michael Whiteaway ◎[金彩鷲ソースボート] ピングオーグレンダール デザイン：ピエトロ・クロン 1898-1914年 塩川コレクション ◎[皿 (ブルーフルーテッド)]ロイヤル コペンハーゲン ペインター：マティアス・ハンセン・ウォルストロップ 1785年頃 塩川コレクション ◎[顔蛙付筆皿] ロールストランド 1897-1910年 塩川コレクション ◎[花瓶 (ソネルズ)] コスタアーネスト・ゴードン 1954年 個人蔵 Photo Michael Whiteaway ◎[ソースボットとプレート no.177、レードル no.141、ブロッサムパターン] ジョージ ジェンセン ジョージ・ジェンセン デザイン1916年頃、制作1929年頃、制作1931年頃 (レードル) 個人蔵

群馬県立館林美術館

GUNMA MUSEUM OF ART, TATEBAYASHI

〒374-0076 群馬県館林市日向町 2003
TEL.0276-72-8188(代表) FAX.0276-72-8338
https://gmat.pref.gunma.jp/